

花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol. **01**
令和4年9月7日号



日時：令和4年9月7日(水)
10:00～12:00
場所：馬見丘陵公園
ボランティアハウス
参加者：23人

10:00～10:20 全体説明
10:20～10:55 花修景の基礎講座
10:55～11:15 花修景のスキルアップ講座
11:15～11:20 休憩
11:20～12:00 花壇デザインワークショップ

今年度の全体スケジュール

今年度もフラワーフェスタ、チューリップフェアに向けた花壇づくりワークショップが始まりました。今年度はボーダー花壇のデザインと施工・ハンギングバスケットの作成に加え、新たな試みとして、皆さんが一般の来園者に向けてワークショップを開催するための、スキル習得講座を行います。

花サポーターの活動も今年で10年目となり、この花壇づくりワークショップも9年目を迎えました。1回目から参加しているサポーターさんは、デザインも植え付け作業もベテランの域に達していると思います。今年度は5名の方が初参加で慣れない作業で大変だと思いますが、ベテランの方々は積極的なフォロー、初めての方々も意欲的に発言していただき、楽しい花壇づくりワークショップにしましょう。

	開催日	内容	予備日
第1回	9/7(水) 10:00～12:00	・花修景の基本講座 ・花修景のスキルアップ講座 ・花壇デザインワークショップ(グループ作業)	—
第2回	9/21(水) 9:00～12:00	・秋花壇施工(ボーダー花壇)	9/26(月)
第3回	12/7(水) 9:00～12:00	・振り返りワークショップ ・室内講習(クラフト講習開催スキルの習得)	—
第4回	3/1(水) 10:00～12:00	・振り返りワークショップ ・花壇デザインワークショップ(グループ作業)	—
第5回	3/15(水) 9:00～12:00	・春花壇施工(ボーダー花壇、ハンギングバスケット)	3/17(金)

花修景の基礎講座

基礎講座では植物の種類や選び方、育てる環境について講義を行いました。

2. 草花の選び方

- ② 苗の選び方
- ・育てる時期にあった苗を選ぶ
 - ・花が咲いている苗を選ぶ
 - ・病気や害虫の付いていない苗を選ぶ



お花の選び方

草花は植え付けや開花の時期を考慮して選びましょう。特に、購入時には以下のようなものを選ぶように注意しましょう。

- ・苗…根がぐらつかず、葉が良く茂っているもの
花が咲いており、病気や害虫等の付いていないもの
- ・球根…大きく重く、腐敗やカビの無いもの
- ・種…新しく、涼しい場所に陳列されているもの

4. 土づくり

良い土の条件

- ① 水はけが良いこと(排水性)
- ② 水持ちが良いこと(保水性)
- ③ 空気のとおりが良いこと(通気性)
- ④ 肥料持ちが良いこと
- ⑤ 有機物を含んでいること
- ⑥ 清潔な土であること
- ⑦ 適度な重さがあること
- ⑧ 土の酸度が適当であること(pH値)

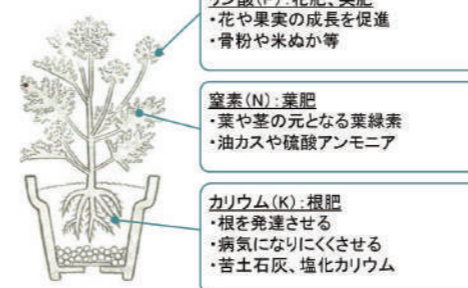
土づくりの基本

草花を育てるには①排水性、②保水性、③通気性が大切です。土をブレンドする際のベースとなる基本用土は、これらのバランスが優れたものを選ぶ必要があります。赤玉土、鹿沼土などがあります。さらに、基本用土に混ぜて良い土を作ってくれる土壌改良材もありますが、これからガーデニングを始められる方には基本用土と土壌改良材、肥料などを栄養素を加えて配合した培養土がおすすめです。市販の培養土を購入する際は、以下の項目に気を付けましょう。

- ・異臭のするもの、ベトベトするものは避けましょう。
- ・品質表示は必ず見て、使用目的にあった培養土を選びましょう。
- ・赤玉土を少量混ぜると花実の成長に良いです。

5. 肥料

肥料の3要素



肥料の基本

肥料には3大成分と呼ばれる要素があります。それぞれ葉や茎の成長を促進する「窒素(N)」、花や実の成長に必要な「リン酸(P)」、根の成長を促進する「カリウム(K)」です。

草花が全体的に弱っている場合は、窒素・リン酸・カリウムの割合が同程度のものを、花が小さい場合はリン酸が多めのものを選ぶなど、目的に合わせて肥料の配合割合を変える必要があります。

肥料の使い方～秋花壇の場合～

具体的な肥料の使い方を、これから施工する秋花壇を例に見てみましょう。



元肥

植え付け前に多めに肥料を施しておきます。急激に多量の肥料を与えると、根が傷んでしまう肥料やけの症状が出る可能性があるため、肥料成分が溶け出すスピードが緩やかな緩効性肥料を用いるのが一般的です。

追肥

1～2ヶ月に1度ほど、または開花のピーク期間など必要な時期に、必要な養分を追加で与えることを追肥といいます。すぐに効果を期待するため、速効性肥料を含んだものを使用します。

お礼肥

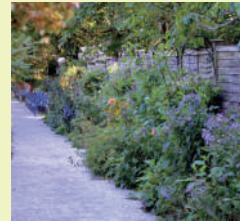
花後や果実の収穫後、主に花木や果樹、球根植物に施して、株の回復をはかる目的で施す追肥の一種です。速効性肥料を含んだものを使用します。



花修景のスキルアップ講座とデザインワークショップ

スキルアップ講座では、花壇の様々なスタイルやデザインの流れについて講義を行いました。紹介された花壇スタイルと、それを踏まえた花壇デザインワークショップの様子をお伝えします。

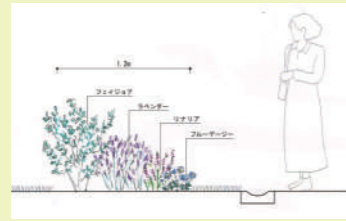
講義のポイント



ボーダー花壇

★花サポーター花壇はこちらの花壇です。

建物や塀、庭の小径などに沿って細長く作られている花壇。手前に背丈の低い植物を、奥に行くにつれて背丈の高い植物になるよう植栽します。



毛氈花壇

草丈の低い花を密に植え込み、絨毯を敷きつめたように見せる花壇。同じ時期に花を咲かせる植物を植えます。



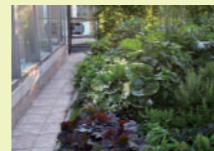
グラスガーデン

ススキ、カヤツリグサなどの草（グラス）類でつくる庭。乾燥に強く、枯れた姿も楽しめます。



ロックガーデン

傾斜地や斜面などに自然石を組み入れて石留めにし、石と石の隙間に植物を植え込みます。



シェードガーデン

強い日差しを遮った場所に作る庭。強風や豪雨などのストレスが少なく、ゆっくりと育つ傾向があるため手入れが比較的楽な点がメリットです。



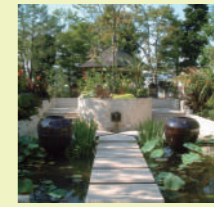
ハーブガーデン

ハーブ（葉草や香草）で構成され、その香りや収穫、利用を楽しみます。



カラーガーデン

花の色の美しさを最大限に生かす庭。一色でまとめたり、複数の花を組み合わせるなど様々です。



ウォーターガーデン

池や滝、流れなどの水景を取り入れた庭園です。

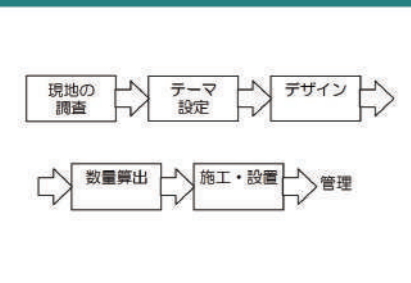


コンテナガーデン

植物を地植えにせず、容器に入れて楽しむ庭。置くだけでなく、ハンギングバスケットのようにつるしたり壁にかけて楽しむこともできます。

花壇のテーマ決め

2. デザインの流れ



用意したキーワード

秋 鮮やか シック 風 爽り
芸術 夕暮れ 収穫 ハロウィン
お月見 紅葉 涼しげ 虫の声
夜長 カラフル 大人な お祭り
焚き火 落ち着いた 長月 哀愁
イワシ雲 実り 足音 運動会
秋の七草 読書 秋晴れ

ご提案いただいたキーワード

マンガの主題歌



まずは今年度の秋花壇のテーマを決めます。

テーマを決めるために、用意したキーワードの中から花サポーター花壇に合うと思うものを3つずつ選んでいただきました。また、用意したキーワードの他にもご提案いただくなど、積極的に取り組んでいただきました。

選ばれたキーワードを組み合わせ、今年度の秋花壇のテーマは「爽りいっぱい 秋のカーニバル」に決定しました。

グループワーク



テーマが決まった後は花壇を6分割し、6つのグループに分かれ、それぞれの班ごとに花壇デザインを行いました。

デザインでは、今のまま残せる花苗、新たに植える花苗を選定し、色や背丈などの特徴を考慮しながらテーマを表現していただきました。どのグループも構想が膨らみ、時間いっぱいになっても提案が止まらないほど大変盛り上がりしました。

次回の花壇施工のワークショップでは、今回考えていただいたデザイン案をもとに花壇施工を行います。今回はグループで作業を行うため、花壇を6分割してデザインを行いました。苗を購入する際の市場性や、隣の班とのデザインを考慮し、花壇全体のまとまりがとれるように調整します。どんな花壇が出来上がるのか楽しみですね。



質問コーナー

アンケート用紙に記載のあった質問にお答えします！

Q. 種の有効期限について、自宅ですった種は何年使える？

A. 保存状態が良ければ何年たっても咲きますが、発芽率はどんどん低下するので早めに蒔くことをおすすめします。また、植物の種類によっても有効期限は異なります。保存する際は、多くの植物は乾燥状態で密閉して、低温の場所に置くのがよいです。自分で採ったタネの場合、十分に乾かした後にビンや缶などの容器に入れて密封し、冷蔵庫に入れておきます。一部には湿潤状態で保存に適した種子も存在し、これらは湿らせた砂やピートモスと混ぜてビニール袋などに入れて密封し、冷蔵庫に入れておきます。一般的にいったん保存した種は一晩水につけておくと発芽率が上がります。

Q. 古い土の中で微塵になった土は取り除く方がよいのでは？

A. 古くなった土はふるいにかけて、網をかくぐった土（微塵）は処分します。残った土から石や害虫、古い根などを取り除き、土壌改良材や腐葉土をまぜて土を再生させます。

